

水産物の市況について(令和2年2月及び令和2年3月)

—東京都中央卸売市場における令和2年2月(令和2年1月21日～令和2年2月20日集計)の市況と、
令和2年3月の市況見通し(前月との比較)—

I 令和2年2月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品及び加工品の合計)は、やや増加したが、卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)は、高級魚を中心に需要が落ち込んでいることから、弱含みに推移しました。

II 令和2年3月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」

入荷量は、やや増加すると見込まれ、卸売価格は、やや弱含むと見込まれます。

「さけ・ます(塩蔵品・冷凍品)」

入荷量は、銀ざけを主体にやや増加すると見込まれ、塩乾品や塩銀ざけの需要が伸びていることから、卸売価格は、横ばいと見込まれます。

「さば(生鮮品)」

入荷量は、横ばいと見込まれ、卸売価格は、産卵による身質の低下がみられることから、やや弱含むと見込まれます。

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

漁の端境期で水揚量が減少することから、入荷量も減少すると見込まれ、卸売価格は、高値で推移していることから、やや強含むと見込まれます。

「あじ(生鮮品)」

入荷量は、やや増加すると見込まれ、卸売価格は、やや弱含むと見込まれます。

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	2月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
2年	33	1,057	31	1,328	35	1,232
前年	32	1,098	31	1,348	35	1,270

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

2:入荷量は生鮮品、冷凍品及び加工品の合計。

主 要 品 目 の 価 格

(単位:円/kg、%)

	<u>東京都中央卸売市場卸売価格(概数)</u>			
	2月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし(生鮮品)	344	98	122	114
さけ・ます(平均)	840	99	79	92
(ぎんざけ塩蔵品)	833	97	76	87
(あきさけ塩蔵品)	895	99	139	133
(ときさけ塩蔵品)	1,085	99	100	109
(べにざけ塩蔵品)	1,294	103	95	117
(さけ類冷凍品)	801	99	77	91
さば(生鮮品)	378	80	95	90
するめいか(平均)	842	92	104	136
(生鮮品)	823	93	103	126
(冷凍品)	1,116	98	133	203
あじ(生鮮品)	650	103	102	103

注1:品目により、市場で水産物の大きさ等が異なることから、主要な水産物の価格データを掲載。

注2:1月の価格は1～20日までの速報値を元に算出。平年とは平成27年～令和元年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ及びアトランティックサーモンが含まれる。

注4:さけ・ます(平均)は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。

問合せ先:水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6617 佐藤、長谷川、大和田

直通 03-3591-5612